

## 令和2年度 卒業証書・修了証書授与式

### 告辞

柔らかな日差しと春の息吹が感じられるこの佳き日に、石川工業高等専門学校第52回卒業証書授与式ならびに第20回修了証書授与式を挙げることは、私たち教職員ならびに在校生にとって大きな喜びであります。今年度の卒業式・修了式は、新型コロナウイルスの感染を防ぐため例年と異なった式次第となっております。式典の様子はLive配信しております。

皆さんのご卒業・修了をお祝いするご挨拶ではありますが、まず新型コロナウイルス感染症のために亡くなられた方々に心からお悔やみを申し上げますとともに、今なおこの感染症と闘っておられる方々にお見舞いを申し上げます。また医療従事者の方々をはじめとする、日々社会基盤を支えてくださっている方々に深く感謝の気持ちをお伝えしたいと思います。

ただいま、本科の課程を修めた卒業生196名、専攻科の課程を修めた修了生27名の若者が、本日石川高専から、新しい道を求めて巣立っていくことになりました。卒業生・修了生の皆さん、おめでとうございませぬ。卒業生・修了生の皆さんが新たな門出を迎えるにあたり、これまでご子弟を支え、励まし続けていただいた保護者の皆さま、また関係者の方々に対し、本校を代表して、改めてここに、お祝いと感謝の意を表したいと存じます。

本日の卒業生の中には、マレーシアからの留学生チャイ君、モンゴルからの留学生ジャガー君とデーギー君がおります。留学生の皆さんは遠く故郷を離れ、異文化の中で言葉の問題をはじめ様々な困難に直面したでしょうが、それらを克服し、勉学に励まれ学業を全うされたことに心から賛辞を贈りたいと思います。

さて皆さんは中学校卒業後、直ちに高等教育機関である本校に入学し、技術者教育を受ける道を選択されました。同世代の若者に先んじて専門的な学問に触れ、短期間で多くのことを学び、ものづくりの中核を担うべき人材を育成する高専での勉学は、相当に厳しかったのではないかと思います。それだけに、本日、無事にこの日を迎えられる皆さんには、大きな達成感と自信が満ちていると感じられます。

しかし、皆さんの人生はこれからが本番です。皆さんは申し分のない就職先や進学先へと4月から巣立っていきますが、これで人生が確約されたわけでは、もちろんありません。そこで、何を考え、何をを行い、何を残すか、それが皆さんそれぞれの生きざまになり、生きた証になります。

皆さんが在学していた間、世界は急激に、そして大きく変化しました。私たちを取り巻く状況が刻一刻と激しく変動する中で、これから敢然と生き抜いていかんとする皆さんに次のことをお勧めします。

それは「挑戦する」ということです。視野を拡げて世界を見据え、社会が何を求めているかを俯瞰すること。その上で、失敗を恐れずどんどん挑戦し、誰もやったことのない未知の境地を切り開いていただきたい。過去と他人は変えられませんが、未来と自分を変えられます。「やる！」と覚悟を決めたものは、とても強いのです。

また、我が国は今、国際化・グローバル化が急速に進んでおります。社会活動の様々な局面でグローバル化が進む中、民族、国境、宗教、あるいは各々の主義主張を越えたグローバルな視点で物事を考えてゆかなければなりません。その根底をなすものは、地球上の全てのものに対して、思い

遣りの心を持つということです。すなわち、限りある資源や繊細な環境の中で、豊かさを追求するために必要な心は、優しさ、いたわり、他人の痛みを感じる心であり、全てのものに対する愛情なのです。皆さんには、高い志を持って、たゆむことなくグローバルな広い視点で物事に取り組んで欲しいと思います。そして、世界の人々と協力し、ともに研鑽を積んでいくことで、今なお私達に大きな困難をもたらしている新型コロナウイルスの様な地球規模の課題に果敢に立ち向かい解決し、世界の人々の生活水準の向上のために貢献してください。

本校は今年で創立 56 年目になります。昨年までに本校を卒業した約 8600 名の卒業生は、国内外の様々な分野で活躍しております。本校に対する社会からの高い評価があるのは、何よりも卒業生の社会での立派な活躍の賜物と思っております。皆さんもそれらの先輩の方々のあとに続いていかれるものと確信しております。また、本校の卒業生は互いに固い絆で結ばれております。皆さんも、石川高専で一緒に学んだ仲間を生涯の友として末永く付き合いを続け、互いに助け合って進んで欲しいと思います。それが皆さんの生涯にとって、かけがえのない財産となります。

卒業生・修了生の皆さんは、それぞれの胸に抱く夢の実現を目指し、今、この石川高専から新たな社会に旅立とうとしています。皆さんが、人間性豊かな創造力溢れるエンジニアとして、素晴らしい未来に向かって研鑽を積み、自信と誇りを持って活躍されることを心から期待しております。皆さんの前途に幸多からんことを心よりお祈りし、告辞といたします。

令和 3 年 3 月 19 日

石川工業高等専門学校長

須田 義昭